

2025年度 夏期公開講座

講座名	英文ライティング夏期セミナー	
講師名	Daniel Broudy	
受講対象	英語科教員、その他希望者	
受講定員	20名	
講師紹介 (bio)	ダニエル・ブラウディ (Daniel Broudy) 博士は、応用心理言語学の博士号を有し、世論に影響を与え、知覚や感情を動かし、思考・言語・行動の変化を導く主要なナラティブ (支配的言説) の起源を理解するために学際的な研究を行っています。彼は30年間にわたり、作文、古典修辞学、コミュニケーション理論、プロパガンダ研究の分野で教育に携わってきました。現在は沖縄キリスト教学院大学で応用言語学の教授を務めています。彼の研究成果の一部は、Researchmap.jp (https://researchmap.jp/d_broudy/published_papers?&lang=en&limit=20) にて閲覧可能です。	
講座内容 course description	現代社会において、テクノロジーが加速度的に進化し、スピードと効率がこれまで以上に求められる中で、私たちの批判的思考力や集中力は徐々に低下しています。そのような状況の中、人間によって書かれる「書く」という行為は、次第に失われつつある芸術となりつつあります。さらに、人間の創造性や独創性を脅かすAIの台頭という新たな脅威に直面している今、「書く力」は人間の主体性や自律性を保つために欠かせない重要なスキルであり続けています。本セミナーでは、言語や文化の枠を超えて、話す力、考える力、そして書く力の衰退に歯止めをかける必要性に応えることを目的としています。セミナーでは、主にナラティブ (物語) 的、記述的、説得的な英語の文章の書き方を効果的に教えるための技術に焦点を当てて議論を行います。セミナーの内容には、アイデアの発想と構成、アイデアの批判的思考と論理的なつながりの把握、文法のおよび修辭的な不整合の認識と修正、読者と目的の理解、そしてより正確な文章表現を可能にする修辭的選択への意識を高めるための講義や実践演習が含まれます。	
回	講 座 計 画	日程
1	Introductions What is Rhetoric? A Brief History Seminar Contents (I. Brainstorming/Outlining; II. Persuading; III. Describing; IV. Defining; V. Narrating)	8/4(月) 1限
2	I. Brainstorming Processes (Pre-writing, Writing, Post-writing), A Brief History of ‘Global Warming’ Mythology, Corporate Green-washing Techniques HO1 Brainstorming Exercise, Quick Review, HO2 Editing Exercise	8/4(月) 2限
3	II. Persuading A. Appeals: Non-verbal; Words; Ethos, Pathos, Logos	8/4(月) 3限
4	Deceptive Appeals, HO3 Identifying Appeals B. Theses: Topic, Assertion, Thesis; HO4 Thesis Not a Thesis; HO5 Topic to Thesis	8/5(火) 1限
5	C. Reasoning Aristotle’s Model; Syllogism & Enthymeme; Some Potential Problems in Reasoning; HO6 Discerning Strengths and Weaknesses in Reasoning; Stephen Toulmin’s Model; HO7 Expanding the Syllogism	8/5(火) 2限
6	III. Describing CHEESE (exercise); HO8 Word Categories Modifiers (new approaches to grammar); HO9 Expanding Meaning with Modifiers; Vivid Language; HO10 Description Exercise IV. Defining What is Definition?; Why Define?; HO11 Definitional Control in Action	8/5(火) 3限
○ 備 考 (Notes for students: 受講生が準備するもの等やその他、注意事項があればご記入ください)		